

# 守山市大型カルバート長寿命化修繕計画

## 背景と目的

本市は、令和5年3月現在、1施設（守山駅構内地下連絡道）の大型カルバートを管理しています。

守山駅構内地下連絡道は、1986年に設置され（経過年数37年）、老朽化の進行に合わせて、大規模な補修や補強が必要となることが予測されます。

そのため、従来の損傷が深刻化してから大規模な修繕を実施する「対処療法的な維持補修」から、損傷が深刻化する前に修繕を実施し、1回毎の修繕に必要な経費を小さくする「予防的な維持補修」へと方針転換し、維持補修にかかる経費の縮減と地下道の機能維持、安心・安全を図るべく、大型カルバート長寿命化修繕計画を策定しました。

## 対象施設

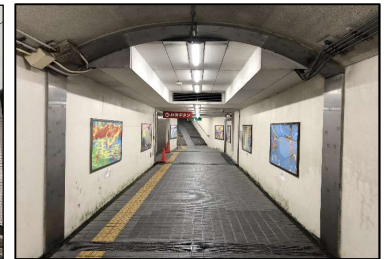
### 守山駅構内地下連絡道

守山駅前に位置し、JR東海道本線を横断する、守山駅の東と西を結ぶ連絡地下道です。

また、商業施設にも接続し、市民生活を支える重要なインフラ施設です。



西側出入口状況



構内状況

## 管理方針

守山市では、以下の方法により施設状況を把握し、施設の管理を行っていきます。

### 日常点検

日常のパトロールにより、異常や損傷を早期発見します。

### 定期点検

5年に1回の頻度で専門業者により点検を実施します。

### 臨時点検

災害や事故等が発生した場合もしくは、発生する恐れがある場合、施設の安全性を確認する点検を実施します。



点検状況

## 施設の状態等

定期点検により見られた損傷例

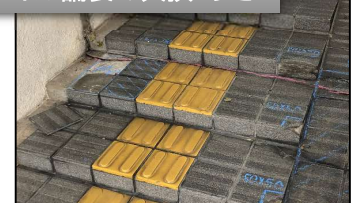
ひび割れ



吹付け材の剥離



タイル舗装の欠損・うき



大型カルバート長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を進めていく予定です。

## 対策内容と実施時期

今後10年間で対策を実施する対策内容と対策時期を整理しています。

表 対策内容・実施時期

施設名	延長 (m)	架設年次	供用年数	点検結果		維持管理計画											
				健全性	点検年次	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
守山駅構内 連絡地下道	235.68	1986	37	Ⅲ	R4	調査	設計 (修繕)	工事		点検							点検

## 対策費用

計画年数50年間の対策費用を整理しました。  
計画初期に修繕を実施し、施設全体の健全度を回復させることで、今後50年間の修繕費用の削減が見込まれます。

また、今後50年間の維持管理は、「予防保全型維持管理」により実施することで、大規模な補修工事費を削減できるとともに、地下道の安全性・信頼性を確保することができます。

なお、初期投資額が大きくなっていますが、今後の調査や設計段階において、変動する可能性があります。

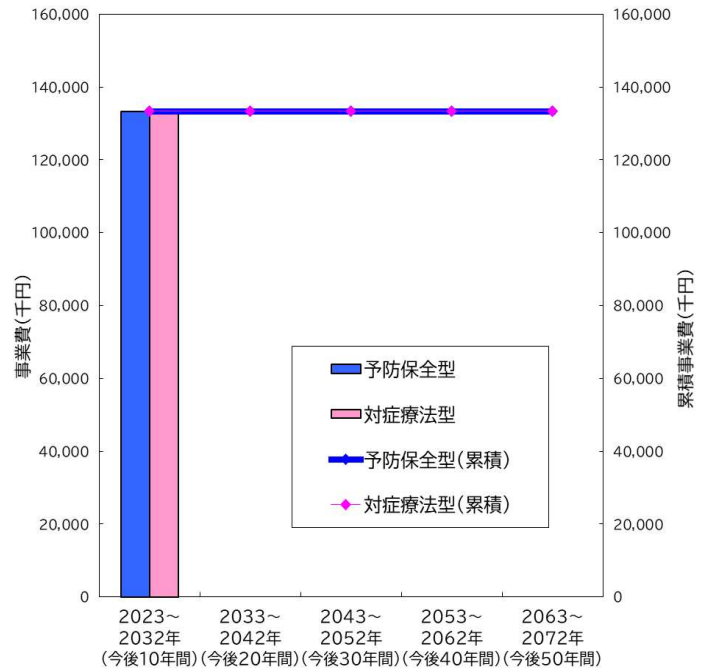
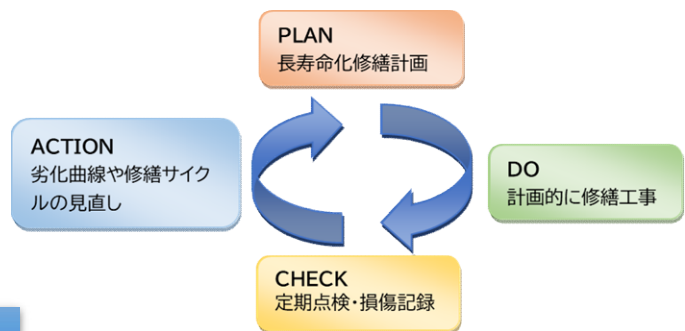


図 大型カルバート長寿命化修繕計画の効果

## 今後の方針

施設の点検・計画・修繕を計画的に実施することで、適切な維持管理に努めていきます。



## 意見聴取した学識経験者

立命館大学 理工学部 環境都市工学科 野阪 克義 教授

にご指導・ご助言を頂きました。